

SNS との関わり方

長坂 一郎

(文学部情報ネットワーク委員)

はじめに

- SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の利用が急速に広がる一方、SNSのセキュリティやプライバシーに関わる問題も表面化している
- SNS を利用する上での注意点を説明する

ソーシャル・ネットワーク・サービスとは

- Twitter, Facebook, Google+,
Linkedin, mixi などの、友人同士が
メッセージや写真などを共有してコミュニ
ケーション取ったりするサービスのこと

トラブルの事例

実際に起きているトラブル

1. プライバシーに関わる情報収集
2. 偽アカウント、アカウントの乗っ取り
3. 不適切な発言や行為による問題

プライバシーに関わる情報収集

- 個人情報 の 不用意な公開による詐欺行為や
実社会での嫌がらせの被害
- SNS への写真投稿によるトラブル
- 位置情報による、自宅、学校の場所の割り
出し
- 意図しない知人からの発見

偽アカウント、アカウントの乗っ取り

- アカウント乗っ取りによる個人情報の搾取
 - － 一日あたり60万件の不正なログインが行なわれている (SOPHOS, Clu1ey氏)
- 偽アカウントによる偽情報の発信
 - － 最近、神戸大学も被害にあっている

不適切な発言や行為による問題

- ソーシャルハラスメント
- 不適切な発言や行為による、炎上
- 投稿による解雇や処分

对策

プライバシーに関わる情報収集 (1)

- 不用意な情報公開をしない
 - 公開されると知らずに、プロフィールに住所や電話番号、家族構成などを記載しない。
 - **公開範囲に留意する**。公開範囲を限定したとしても、フォロワーのミスや SNS のシステムエラーなどで流出する場合もある。
 - 旅行などの投稿、Twitter のナウ発言により、家が留守であることが発覚するので注意。
 - 公開した情報は**半永久的にインターネット上に残る**ため、将来問題となる可能性を常に考慮する。

プライバシーに関わる情報収集 (2)

● 設定の不備

- SNS の多くは広告やデータの使用権から利益を得ているため、基本的に情報を公開する方向で運営されている。
- デフォルトで「公開」となっている場合が多いため、常に注意が必要。
- SNS のポリシーが変更となり、意図しない公開が行われる可能性もある。

プライバシーに関わる情報収集 (3)

- 「友達」による情報公開
 - － 一緒にいる友人に写真を公開されたり、チェックイン機能により現在位置を公開されたりするため、その友人の公開範囲にも注意が必要。

偽アカウント、アカウントの乗っ取り

- パスワードを適切に管理する
 - － 使いまわしをしない
- 偽アカウントを発見したら、すぐに SNS のカスタマー・サポートに連絡

不適切な発言や行為による問題

- 不適切な行為そのものをしてしない
- 虚偽の内容を含む発言をしてしない
- 他者の個人情報を経可なく公開しない
- 他者を誹謗・中傷する発言をしてしない
- (アルバイトなど)業務上、知り得る情報を発信しない
- モラルに違反する内容(未成年の飲酒、法令違反、カンニング、迷惑行為など)を発信しない

「インターネット上のサービス利用に関するガイドライン」

● 学生として利用する場合

- 本学の学生としての自覚を持ち、責任ある利用を行うこと
- 公開範囲に留意し、必要のない情報を公開しないこと
- 大学における教育研究に関わる情報を公開する場合は、指導教員に確認のうえ行うこと
- 些細な情報であっても組み合わせることで個人情報特定されプライバシーが侵害される恐れがあるので発信する内容には注意すること

参考文献

- 「SNS の安全な歩き方」、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 SNS セキュリティワーキンググループ、2012.
 - http://www.jnsa.org/result/2012/SNS-WG_ver0.7.pdf
- 「SNS利用上の注意点」、総務省、2013.
 - http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/enduser/security02/05.html